

第14回全日本エンデュランス馬術大会2013 実施要項

主催：公益社団法人 日本馬術連盟 運営：全日本エンデュランス馬術大会実行委員会

1. 競技日程 平成25年9月21日(土)～23日(月・祝)

9月21日(土)

受付 9:00～12:00
(入厩時)獣医検査 ～13:00
役員打合せ 11:00～12:00
獣医師団打合せ 12:00～13:00
第1回インスペクション(競技前インスペクション)
13:00～15:00
開会式/ブリーフィング(選手打合せ会)
16:30～17:30

9月22日(日)

選手権競技スタート 3:00～
一般競技スタート 5:00～
一般競技ベストコンディション賞
/実馬比較審査 15:00(予定)～
交流懇親会 18:30～

9月23日(月・祝)

選手権競技ベストコンディション賞
/実馬比較審査 7:30～
閉会式/表彰式 13:00～

2. 会場 長野県長野市 飯綱高原および戸隠高原一帯の特設コース

最大標高差:約310m

海拔:約1,040m～1,350m

3. 大会について

1. 競技種目	1. 選手権競技 120km (40km+40km+20km+20km 4区間) 走行時間制限 12時間00分(平均時速:10.00km/h) 第3区間のカットオフタイム 14:20 第4区間のカットオフタイム 17:00 強制休止時間 第1～3区間後 40分 2. 一般競技 80km (40km+20km+20km 3区間) 走行時間制限 8時間00分(平均時速:10.00km/h) 第2区間のカットオフタイム 11:40 第3区間のカットオフタイム 14:20 強制休止時間 第1～2区間後 40分
---------	--

	<p>4. 順位決定 順位は、最終インスペクションに合格した人馬の中から走行時間の少ない順とする。</p> <p>5. その他重要なルール</p> <p>①馬装／用具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拍車、鞭(それに準じたものを含む)、折り返し手綱の使用はできない。 ・踵のない靴(12mm 未満)を履くことは、ケージ付の鎧か、同様の安全鎧を用いる場合のみ許される。 <p>②スタートとゴール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1区間スタート時刻から15分以内にスタートしなければ失権となる。 ・第1区間のスタートラインと最終区間のゴールラインは、騎乗して通過しなければならない。 <p>③コース走行中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手への援助は、スタート前、ゴール後、クレーポイント、クレーエリア、獣医検査場に限られる。原則として、給水ポイントでは外部からの援助は受けられない。 ・選手以外の方がコース上で騎乗した場合、あるいは車両・自転車・徒歩等で併走した場合は失権となる。 ・競技走行中における携帯電話の使用を許可する。 <p>④失権・棄権</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失権・棄権した場合、直ちにコースから退去しなければならず、走行を継続することはできない。また、他の選手の走行を妨げてはならない。 ・走行中に棄権した場合、獣医師による競技参加馬の検査を受けなければならない。 															
<p>4. 選手の服装</p>	<p>国際馬術連盟エンデュランス競技会規程第8版 第809条に基づいたエンデュランス競技に適した服装で、ヘルメットは乗馬用規格で顎紐をシェル部分で3点以上固定してあるものを確実に装着しなければならない。また、バックガードの着用を推奨する。</p>															
<p>5. 参加料</p>	<table border="0"> <tr> <td>選手権競技</td> <td>1頭</td> <td>57,000円</td> </tr> <tr> <td>一般競技</td> <td>1頭</td> <td>47,000円</td> </tr> </table> <p>※ 参加料の内1種目あたり、2,000円を任意のオリンピック協賛金とする。</p> <table border="0"> <tr> <td>予備馬登録料</td> <td>1頭</td> <td>2,000円</td> </tr> <tr> <td>馬入厩料</td> <td>1日</td> <td>2,000円(1頭あたり)</td> </tr> <tr> <td>交流懇親会</td> <td>1名</td> <td>3,000円</td> </tr> </table> <p>【参加料等振込先】</p> <p>①長野信用金庫 城北支店 口座番号 普通 0289816</p> <p>②八十二銀行 長野北支店 口座番号 普通 470882</p> <p>口座名義(①②共通) <small>ぜんにほんえんで、ゆらんすばじゅつたいかいじつこういんかい かいけい すずきみさき</small> 全日本エンデュランス馬術大会実行委員会 会計 鈴木美咲</p> <p>※一度納入した参加料等はいかなる場合でも返却しない。なお、主催者側の都合により競技を取りやめた場合は、この限りではない。</p> <p>本大会に参加する馬匹について、輸送の総距離が1,000km以上の場合、1頭につき片道10,000円(往復20,000円)の輸送費補助をする。輸送費補助の申請は、参加申込と併せて行うこと。</p>	選手権競技	1頭	57,000円	一般競技	1頭	47,000円	予備馬登録料	1頭	2,000円	馬入厩料	1日	2,000円(1頭あたり)	交流懇親会	1名	3,000円
選手権競技	1頭	57,000円														
一般競技	1頭	47,000円														
予備馬登録料	1頭	2,000円														
馬入厩料	1日	2,000円(1頭あたり)														
交流懇親会	1名	3,000円														

<p>6. 申込方法および期限</p>	<p>1. 参加申込みの締切り 平成 25 年 8 月 30 日(金) 必着 参加申込書に記入の上、締切日までに郵送にて申し込むこと(FAX および電子メール不可)。 ※締切り後の申込および書類の不備等がある場合は、出場を認めない場合がある。</p> <p>2. 参加申込書には人馬(予備馬含む)ともに、JEF 会員あるいは登録番号を必ず記入すること。</p> <p>3. 馬の変更は、申し込み済の予備馬の中でのみ受け付ける。</p> <p>4. 未成年者の参加は、保護者の承諾を得た上で行うこと。</p> <p>5. 申込書送付先 〒380-0888 長野県長野市上ケ屋 2471 (社)飯綱高原観光協会 TEL:026-239-3185 FAX:026-239-2934</p> <p>6. 問合せ先 飯綱ライディングパーク TEL:026-239-3135</p>
<p>7. 入厩</p>	<p>1. 平成 25 年 9 月 20 日(金)～23 日(月・祝)を大会入厩期間とし、この期間中につき大会役員が監視する。なお、厩舎施設の都合上、入厩の調整を行う場合がある。</p> <p>2. 平成 25 年 9 月 14 日(土)～19 日(木)を事前入厩期間とし、大会入厩期間までの連泊を許可する。ただし、大会入厩期間外につき各馬所有者等が自己責任において監視すること。また、事前入厩期間と大会入厩期間で、馬房の位置を変更する場合がある。</p> <p>3. 入厩は、大会実行委員会の指示に従って馬運車の移動を行い、会場に到着後速やかに、馬の登録証および健康手帳を大会本部に提出すること。</p> <p>4. 参加馬および予備馬以外は、入厩できない。また、入厩時には「8. 馬の防疫」の基準を満たしていること。</p>
<p>8. 馬の防疫</p>	<p>1. 下記の事項が記載された馬の健康手帳を携行すること。</p> <p>①入厩日の前年 1 月 1 日以降の馬伝染性貧血の陰性証明。</p> <p>②馬インフルエンザの予防接種を以下の要領で実施し、その接種証明。 ・基礎接種として初回ワクチン接種を実施してから 21 日以上・2 ヶ月以内に 2 回目のワクチン接種を行い、その後、7 ヶ月以内に最初の補強接種を行い、それ以降は 1 年以内に継続的に補強接種を受けていなければならない。 ・競技場に入厩する 6 ヶ月+21 日以内に補強接種(または基礎接種の 2 回目)を受けていなければならない。 ・2008 年 3 月 31 日以前に基礎接種を完了している馬については、基礎接種の後の最初の補強接種は 1 年以内であれば可とする。</p> <p>③日本脳炎予防接種を以下の要領で実施し、その接種証明。 ・当年 5 月 1 日以降に、2 週間から 2 ヶ月の間隔で 2 回実施していること。</p> <p>2. 馬インフルエンザが疑われる馬匹は入厩できない。出発前 1 週間の臨床症状をよく観察し、馬インフルエンザを疑う症状がある場合は、獣医師に検査を依頼すること。</p> <p>3. 馬輸送用馬運車は、積み込み前にその内部をパコマあるいは逆性石鹼等で消毒すること。</p> <p>4. 入厩予定日において、輸入検疫後の着地検査中(3 ヶ月)の馬匹は出場できない。</p> <p>5. 根室・釧路・網走管内から参加する馬匹については、馬パラチルス陰性の証明書(家畜保健衛生所発行)を携行すること。</p> <p>6. 上記が守れない場合や申込書類に不備がある場合は、入厩を認めない。</p>

<p>9. 獣医検査(エグザミネーション)とインスペクション</p>	<p>1. 獣医検査(エグザミネーション) 馬匹の入厩後、速やかに馬の登録証および健康手帳を大会本部に提出すること。獣医師団により査閲し、馬の個体識別、伝染病疾病の有無および健康確認を行う。</p> <p>2. 第1回インスペクション 競技開始の前日に、参加馬が競技への参加適性があるかどうか審判団とおよび獣医師団のもと実施する。</p> <p>3. インスペクション</p> <p>①インスペクションを受けるまでの時間は各区分到着後 20 分以内とし、再インスペクションは1回のみとする。ただし、最終区間のゴール後は 30 分以内とし、再インスペクションは受けられない。</p> <p>②最高心拍数は、64 拍/分以下とする。ただし、気象条件等により技術代表、獣医師団長および審判長の協議の上、基準値を変更する場合がある。</p> <p>③過度の疲労、熱中症、疝痛、筋障害、激しい脱水症、または異常に高い体温(40℃以上)の症状を呈している馬は失権となる。</p> <p>④継続的に歩様の異常を呈し、それによる苦痛の可能性を有する、または将来の運動能力に対する悪影響が懸念される馬は失権となる。</p> <p>⑤競技に参加、または競技を継続することによって、該時点時点で有する痛み、外傷等が深刻に悪化しそうな状態にある馬は失権となる。</p> <p>⑥獣医師団からの書面による承認がない限り、競技会期間中に獣医師による治療を行うことはできない。認可された処置は当該馬の順位決定に影響を及ぼさない。</p> <p>4. 強制再インスペクション 選手権競技では、第3区分終了時のインスペクションに合格した馬匹は、第4区分に出発する前に再度インスペクションを受けなければならない。強制再検査は第4区分スタート時間の15分前から行う。</p> <p>5. 最終インスペクション 選手権競技の最終インスペクションの判定は、3名の獣医師による合議なしの投票によって行い、多数決によって最終判断が決定される。</p> <p>6. その他のインスペクション 既定のインスペクションに加えて、獣医師団あるいは審判長の判断により、競技中、何時でも個別のインスペクションを行うことが出来る。</p> <p>7. ベストコンディション賞 ベストコンディション賞は、上位入賞者の中から実馬比較審査により決定される。ただし、獣医師団および競技場審判団の判断により、該当馬が無い場合も有りうる。選考対象馬は審査時まで競技主催者の監視下に置かれる。</p>
<p>10. ドーピング検査</p>	<p>選手および馬匹とも、ドーピング検査を実施する。</p> <p>【処方薬を服用中の競技者に関する注意】 治療のために、禁止薬物・方法を使用する必要がある場合は、事前に治療目的使用に係る除外措置(TUE)の申請手続きを行い、承認を得ておくこと。</p> <p>※TUE 申請手続き方法: 「TUE 申請書」および「TUE 確認書」を、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のホームページからダウンロードして入手し、競技者および医師が所定の事項を記入し、競技会の21日前までにJADAに提出する。</p>

	<p>【競技者のドーピング防止に関する参考ウェブサイト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本アンチ・ドーピング機構 ・TUE(治療目的使用に係る除外措置)関連書式/医師のための TUE 申請ガイドブック ・ドーピング防止のための選手必携書 ・薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック <p>【馬匹のドーピング防止に関する参考ウェブサイト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本馬術連盟ホームページ>ドーピング防止関連 ・日本馬術連盟ホームページ>規程集 <p>※馬匹の治療に関する注意</p> <p>競技会期間中における馬への獣医療の実施については、規程に基づき獣医師団長の許可を得ること。</p>
11. 開会式・ブリーフィング	<ol style="list-style-type: none"> 1. 選手または所属団体の代表者は必ず出席すること(代理出席を認める)。 2. ブリーフィングで決定あるいは確認した事項を優先する。
12. 表彰式	<p>入賞者は必ず表彰式に出席すること。正当な理由なく表彰式に参加しないものは、入賞の資格を失う。</p>
13. 褒賞	<ol style="list-style-type: none"> 1. 選手権競技の優勝者を全日本チャンピオンとする。 2. 各競技の出場数の上位1/4までを入賞とする。ただし、出場者が20名以下の場合、第5位までを入賞とする。また、褒賞は下記の通りとし、入賞者に馬リボンを贈る。 <ul style="list-style-type: none"> 1位～3位 賞状/メダル/厩舎掛け/副賞 ベストコンディション賞 賞状/副賞
14. 完走証明書	<p>完走した人馬に完走証明書を交付する。</p>
15. 落鉄対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各自十分な対応をすること(改装・イージーブーツ等)。 2. 主催者で装蹄師の手配をするが、予備鉄は各自で用意すること。予備鉄がない場合、装蹄できないことがある(装蹄料は実費負担)。 3. 予備鉄は事前にゼッケン番号および馬名を明記して、大会本部に預けること。 4. 再装蹄にあたっては、外部からの援助を受けることができる。
16. 落馬・放馬対策	<p>落馬・放馬の場合は、いつでもどこでも誰からの援助も受けられる。競技を続行する場合は、落馬・放馬した場所に戻り、再スタートする。</p>
17. マナーについて	<p>走行は左側通行を原則とし、追い越しは原則として右からとするが、以下のマナーを厳守すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 追い越す側 <ul style="list-style-type: none"> ① 追い越しに適した安全な場所か、道幅は充分かを判断する。 ② 左右どちらから追い越せば安全かを判断する。 ③ 追い越しを掛ける際に、前のライダーに「右(左)から抜きます。」と大きく、はっきりした声で叫ぶこと。 ④ 前のライダーに声が届いたことを確認し、安全に追い越す。 ⑤ 狭い場所での追い越しはやめ、決して前の人馬にプレッシャーを与えないようにする。

	<p>2. 追い越される側</p> <p>①後ろからスピードの速いライダーが追いついて来ても慌てない。</p> <p>②追い越しの意思を確認したら、出来る範囲で道を譲る。</p> <p>3. 事故の場合の対応</p> <p>事故者を発見した場合、後続の選手は可能な限りの手助けを行わなければならない。その次の選手は最も近いチェックポイントに連絡しなければならない。</p> <p>4. その他</p> <p>①水場が同時に使用できない場合は順番を待つ。</p> <p>②給水用に用意された水おけなどに、馬体を冷やすためのスポンジは入れない、馬体にかけて水や汗が水槽等に入らないよう十分注意する。</p> <p>③川の中で水を飲んでいる馬、あるいは休憩している馬がいる場合は、十分な距離を置いて静かに走行する。</p> <p>④蹴り癖のある馬は、目印として尻尾の付け根に赤いテープ等を巻く。</p> <p>⑤牡馬(種馬)は目印として尻尾の付け根に青いテープ等を巻く(主催者が特別なゼッケンを用意することがある)。</p>
18. 注意事項	<p>1. 選手は傷害保険に加入していること。</p> <p>2. メディカルカードをライダーズベストのポケットに必ず携行の上、走行すること。</p> <p>3. 厩舎およびその周辺の清掃は、各自相互に協力して行うこと。清掃用具は各自持参すること。</p> <p>4. 雨よけ・日よけの装備にあたっては、設置前に大会本部の承認を受けること。</p> <p>5. 厩舎・クレーエリア・コース・クレーポイントは火気厳禁、禁煙とする、喫煙は指定された喫煙場所のみで行うこと。</p> <p>6. 未明のスタートとなるので、必要な場合は各自照明器具等を準備すること。</p> <p>7. この要項にない事項に関しては、関係役員(技術代表、大会委員長、審判長、チーフスチュワード、獣医師団長)の協議で決定する。</p>
19. 特記事項	<p>締切後に参加申込み書類の内容等に重大な不備が認められた場合は、大会役員の判断で取消す場合がある。</p>